



日鉄住金工材

若者の採用、育成で評価

ユースエール認定企業に

若者の採用や育成に積極的な優良企業として厚生労働大臣が認定する「ユースエール認定企業」にこのほど、上越地域から初めて日鉄住金工材（上越市川原町、石川昌弘社長）が選ばれた。6月30日、新潟市中央区の新潟労働局で横葉（ゆずり）伸一局長から認定通知書が贈られた。

写真。

同制度は平成27年10月1日施行の若者雇用促進法に基づいて創設。認定企業は日本政策金融公庫の低利融資、公共調達の加算評価、若者の採用・育成支援に関する助成金の加算などのメリットを受けられる。県内では昨年度認定された新潟ソフトストラクチャー

（十日町市）に続き2社目となる。

同社は今年度から、有給休暇の一環で「ハッピー休暇制度」を導入。家族の誕生日など指定する5日間を「メモリアルな日」と位置付け、うち3日間は休んだ後に1日当たり3000円を支給。誕生日ケーキやプレゼントの購入に充てるな

ど、喜ばれているという。家族宛てに、社長と所属長から直筆のメッセージカードも郵送している。

6月28日に創立70周年の大きな節目を迎えた同社。石川社長は「幾多の困難も、社員の不撓（ふとつ）不屈の精神で乗り切ってきた。人材こそが企業発展の礎と再認識してい



る」と話し、「認定を励みに、さらに若者に魅きのある、地域に貢献する企業を目指して一層の努力を積み重ねたい」と決意した。

上越・日鉄住金工材 独自の休暇新設 若者を積極支援

新潟労働局が認定

新潟労働局は、若者の採用や育成に積極的だとして金属加工販売の日鉄住金工材(上越市)を「ユースエール認定企業」に選び、30日、新潟市中央区の同労働局で認定通知書を交付した。写真。県内での認定は3件目で本年度初。制度は若者雇用促進法に



基づき、2015年に始まった。直近3年間で新卒者の離職率が低いことや育児休業の取得率が高いことなどが条件。認定されるとハローワークで重点的にPRされるほか、若者支援に向けた助成金に加算されるなどのメリットがある。

日鉄住金工材では、従業員が仕事だけでなく趣味や家族にまつわる目標を立てて共有。4月には、従業員本人や家族の記念日などに有給を取る「ハッピー休暇制度」も設けた。若者の積極性が高まり、新入社員も休暇を取りやすくなっているという。

交付式で同社の石川昌弘社長は「働き方改革は『生き方改革』だと捉えている。社員の幸せを追求することで、効率的な労働や顧客満足度につなげたい」と語った。